羽越水害を契機に計画されたダム

羽越水害とは

昭和42年(1967年)８月26日頃、沿海州北部から南下してきた冷たい高気圧と、南の太平洋高気圧の間で停滞していた、東西に延びる前線がやや活発となり、東北地方南部から北陸地方輪島の北を通り、日本海北部に停滞していた低気圧に達しました。

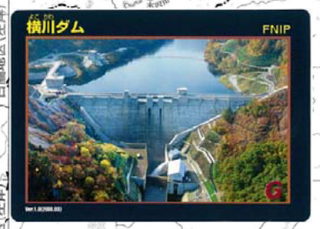
このためいわゆる梅雨末期の気圧配置となり、低気圧が東に進むにつれ前線は北上し活動が活発になり、26～27日、28～29日と次々に新潟県北部（下越地方）から山形県南部（置賜地方）の飯豊山系を中心に未曾有の豪雨をもたらし、この地域を水源とする山形県の最上川、新潟県の三面川、荒川、胎内川、加治川の沿川に、過去最悪の水害をもたらし、当時戦後最大規模といわれる被害となりました。

この水害は、最上川、荒川、胎内川などで治水計画が見直されるきっかけとなり、治水対策を強化するため多目的ダムや治水ダムが計画されました。

羽越水害による主な被害

		山形県内	新潟県内	合計
人的被害（死者・行方不明者・負傷者）		145人	134人	279人
家屋被害	家屋損壊（全半壊・流出）	167戸	3，147戸	3，314戸
	床上浸水	10，818戸	16，422戸	37，240戸
	床下浸水	11，066戸	45，066戸	56，132戸

出典：「最上川大辞典」「荒川水系河川整備基本方針」



奥三面ダム

大石ダム

横川ダム

長井ダム

寒河江ダム

白川ダム

胎内川ダム

奥胎内ダム
建設中

奥胎内ダム
（建設中）

内の倉ダム

加治川治水ダム

綱木川ダム

国土交通省管理ダム

山形県管理ダム

新潟県管理ダム

羽越水害を契機にして計画されたダム一覧

県名	ダム名	完成年	河川	管理者
山形県	白川ダム	1981年（昭和56年）	最上川水系置賜白川	国土交通省
	寒河江ダム	1990年（平成２年）	最上川水系寒河江川	国土交通省
	綱木川ダム	2006年（平成18年）	最上川水系鬼面川右支大樽川左支綱木川	山形県
	横川ダム	2008年（平成20年）	荒川水系横川	国土交通省
	長井ダム	2011年（平成23年）	最上川水系置賜野川	国土交通省
新潟県	内の倉ダム	1972年（昭和47年）	加治川水系内の倉川	新潟県
	加治川治水ダム	1974年（昭和49年）	加治川水系加治川	新潟県
	胎内川ダム	1976年（昭和51年）	胎内川水系胎内川	新潟県
	大石ダム	1979年（昭和54年）	荒川水系大石川	国土交通省
	奥三面ダム	2001年（平成13年）	三面川水系三面川	新潟県
	奥胎内ダム	建設中	胎内川水系胎内川	新潟県

※このダムカード等はコピーですので、展示室に掲示しているパネルとは一部異なります。